

☆水よう液・もののとけ方に関する問題 2019年 東京都立大泉高等学校附属中学校①

先生：食塩水のような液体を水よう液といいます。

しんいち：食塩のように水にとけるものは他にもあるから、他のものについても調べてみよう。

こうた：食塩のようにとけるものにホウ酸や砂糖があるね。

先生：ホウ酸は、消毒薬として使われたり、ガラスなどをつくるときに使われたりする薬品です。

また、砂糖のかわりに、砂糖から不純物を取りのぞいた「しょ糖」を実験に使うとよいですよ。

もののとけ方を調べていたこうたさんとしんいちさんは、今度は同じ量の水にホウ酸やしょ糖がどれくらいとけるかに興味をもち、水の温度がちがうととけ方が変わること気づきました。

こうた：水の温度を変化させると、水にとける食塩やホウ酸やしょ糖の量が変わったよ。

しんいち：そうだね。ホウ酸やしょ糖が水の温度によってどれくらいとけ方にちがいがあるか調べてみよう。

先生：水の温度が高いときは、やけどなどに注意して実験を行ってくださいね。

こうたさんとしんいちさんが実験をしてみると、それぞれの温度でホウ酸としょ糖を水100gにとける限りとかした量は表1のようになった。

表1	20℃	40℃	60℃	80℃
ホウ酸	5g	8g	13g	19g
しょ糖	200g	240g	290g	360g

しんいち：表1を見るとホウ酸よりもしょ糖のほうが同じ量の水にたくさんとけることが分かるね。

こうた：そうだね。それに水の温度が上がるにつれて、とける量も増えていっているのが分かるね。

授業ではとかしたものを取り出す実験がしょうかいされていたけど、それも実験してみようよ。

**実験1** 水100gをビーカーに入れ、このビーカーの水の温度が40℃になるまで温め、ホウ酸8gをこのビーカーに入れて水にとかす。全てとかしたあと、ビーカーの水の温度が20℃になるまで冷やす。

**実験1の結果**

つぶがビーカーの中に出てきた。水よう液をろ過してつぶの重さを測ったところ3gだった。

しんいち：私は3gのホウ酸がつぶとして出てくると考えていたから、予想していたとおりだったよ。

こうた：**表1**から考えられることと**実験1の結果**はだいたい同じと言っていいね。**表1と実験1の結果**から、こい水よう液を作るには水の温度が高い方がよいことがわかるね。

しんいち：冷やしてつぶが出てくると水よう液のこさは変わるということだね。水よう液のこさは算数で習った割合で表すことができるかもしれないね。

■問題

80℃の水100gにホウ酸10gを入れてとかしたビーカーAと、80℃の水100gにしょ糖250gを入れてとかしたビーカーBをゆっくり冷やしていく。

60℃、40℃、20℃、の時の、水よう液1gあたりに、とけているものの重さは何gか、ビーカーA・ビーカーBのどちらかを選び、次の表に当てはまる数字を答えなさい。

ただし、割り切れないときは小数第三位を四捨五入して小数第二位まで答えなさい。

60℃	40℃	20℃
g	g	g

町子さんとたかしさんは、お父さんと熱中症予防について考えています。

町子さん：熱中症が心配だから水筒に水をたくさん入れておかないといけないね。

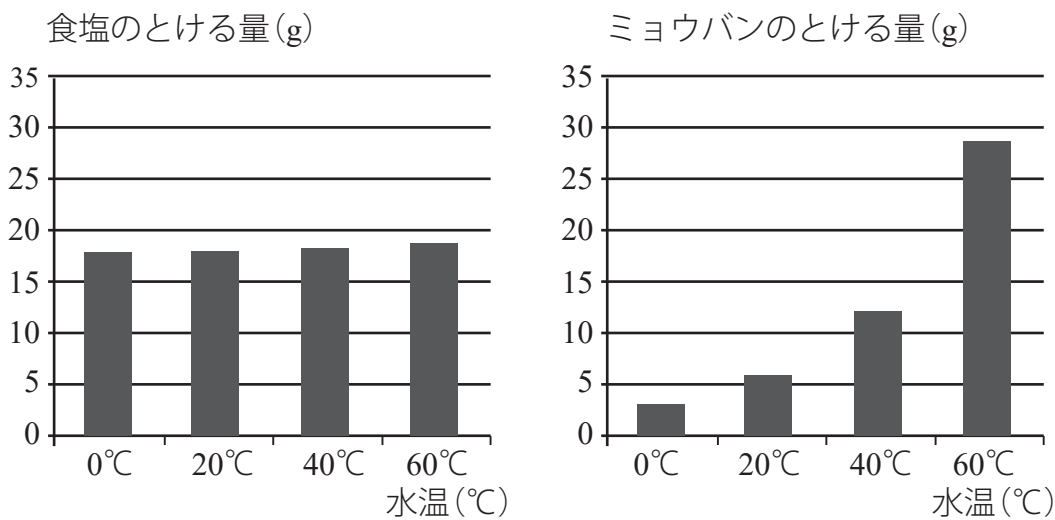
お父さん：水だけじゃ不十分だよ。食塩も必要だよ。

町子さん：へえ、そうなのね。じゃあ、どのくらい食塩を入れればいいの。

お父さん：水1Lに食塩2gだよ。

たかしさん：食塩は、どれくらい水にとけるのかな。冷たくてもとけるのかな。

町子さん：ここに50mLの水にとける食塩の量とミョウバンの量を、水温によってとける量を表したグラフがあるから比べて見るとよく分かるよ。



たかしさんと町子さんは、このグラフからいろいろなことを考えました。

(1) このグラフから、ミョウバンの方が食塩よりも多くとけるのは何度の時ですか。

次の①～⑥から1つ選び、記号で書きましょう。

- ① 10°C    ② 20°C    ③ 30°C    ④ 40°C    ⑤ 50°C    ⑥ 60°C

(2) 水温20°Cの時に1Lの水にとける食塩の量はおよそ何gですか。

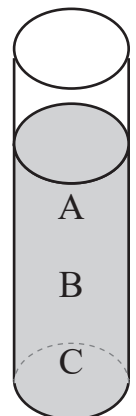
(3) 食塩が完全にとけてしまった後に、食塩水のこさはどうなりますか。

次のア～エから1つ選び、記号で書きましょう。

また、なめたり飲んだりしないで、食塩水の上(A)と中(B)と下(C)のこさを調べるにはどんな方法が考えられますか。

あなたが考えた方法を書きなさい。

- ア Aが1番こい    イ Bが1番こい    ウ Cが1番こい    エ どこも同じ



さとるさんは、カイロ(使い捨てカイロ)の温まり方について疑問をもち、先生と一緒に理科室で調べることにしました。

### 会話1

さとる：カイロの中身はどうなっているんですか。

先生：カイロの袋を開けて、中を見てごらん。ただし、危ないので、先生と一緒に調べてみようか。

さとる：カイロの袋を開けると、中に黒い粉が入っています。これは何ですか。

先生：見ただけでは、分からないね。外のビニール袋に何か書いてあるよ。調べてごらん。

ビニール袋には、次のように書いてありました。

品名	使い捨てカイロ
原材料名	鉄粉・水・食塩・活性炭 <sup>*1</sup> ・パーミキュライト <sup>*2</sup>

※ 1 活性炭…石炭などを原料として作られる小さな穴をたくさんもつ炭の一種。

※ 2 バーミキュライト…農業や園芸用の土として使われるもの。水分を吸収しやすい。

### 会話2

さとる：ええっと、鉄粉、水、食塩、活性炭、バーミキュライトが入っているようです。でも、カイロの中身は、黒い粉だったから、食塩が入っているようには見えません。

先生：そうだね。でも、この黒い粉から食塩を取り出してみることができるかもしれないよ。

さとる：それはどうすればいいんですか。

先生：（ ア ）

さとる：なるほど、どうすればいいんですね。

### 問い1

（ ア ）には、カイロの中身の黒い粉から、食塩を取り出す方法が入ります。

食塩を取り出すにはどのような方法が考えられるか答えてください。

詳しい解答・解説  
はコチラをクリック

広志くんは、夏休みに台所で祖父のお手伝いをしました。次の会話は、そのときに広志くんと祖父が話したものです。

広志「ナスの漬物ってどうやって作るのかな。」

祖父「食塩とミョウバンをふりかけて作るのだよ。」

広志「食塩とミョウバンは、よく似た白いつぶだね。そういえば、目薬などに使われるホウ酸もよく似た白いつぶだね。」

祖父「よく知っているね。」

広志「この3種類の白いつぶを見分けることはできるのかな。」

祖父「水にとかすと見分けることができるぞ。」

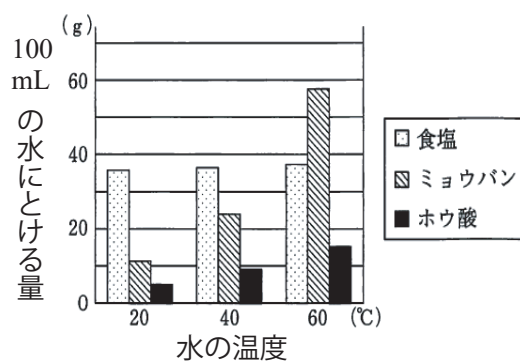
広志「水にとかして水溶液にしたら、全て同じに見えてしまうよ。」

祖父「見た目では見分けることができないよ。でも、ものの種類でとけ方がちがうことに着目すると見分けられるよ。」

広志「なるほど、これって夏休みの科学研究にならないかな。」

興味をもった広志くんは、台所にある道具などを使って、食塩、ミョウバン、ホウ酸の3種類の白いつぶを見分けようとしています。広志くんは、水の温度によってとけ方がちがうことについて調べ、グラフにまとめました。

広志くんがまとめたグラフ



(台所にある道具など)

なべ、フライパン、ガスこんろ、はかり、計量カップ、温度計、はし、スプーン、コップ、水、氷、ぞうきん

あなたが広志くんなら、どのような手順で3種類の白いつぶのそれぞれが食塩、ミョウバン、ホウ酸だと見分けますか。その見分ける手順と結果をあわせて書きなさい。なお、台所にある道具などは、同じものを2つ以上使ってもかまいません。

☆水よう液・もののとけ方に関する問題 2015年 埼玉県立伊奈学園中学校①

ゆうきさんたちは、家族といっしょに、海へ行きました。

ゆうきさん「海水にはたくさんの塩がとけているというけれど、どれぐらいとけているのかな。」

ひかるさん「そうだね。本当にとけているのだとしたら、海水から塩のつぶを取り出してみたいよね。」

なつきさん「海水から塩のつぶを取り出すには、どうしたらよいかな。」

(1) 海水から塩のつぶを取り出す方法を20字以内で書きましょう。

ゆうきさんたちは、科学クラブの時間に、もののとけ方について実験することにしました。

ゆうきさん「海水100mLから、塩のつぶは約3gとれたけれど、さらに塩を入れてもとけそうだね。」

ひかるさん「とけると思うけれど、塩は水にどれぐらいとけるのかな。」

なつきさん「ビーカーに100mLの水を入れ、その中に食塩を少しずつ加えていって、どれだけとけるか調べてみようよ。」

ゆうきさん「いいね。比かくするためにミョウバンも、同じようにとかせてみようよ。」

ひかるさん「水の温度を変えながら、100mLの水にどれだけとけるかまとめてみたら、このような結果になったよ。」

[それぞれの温度における100mLの水にとけた量]

水の温度 とかす物	20℃	40℃	60℃	80℃
食塩	35.8g	36.4g	37.1g	38.0g
ミョウバン	11.4g	23.8g	57.4g	320.9g

(2) 水の温度が40℃のとき、150mLの水には最大でどれぐらいの食塩がとけるか求めましょう。

また、その求め方を120字以内で書きましょう。

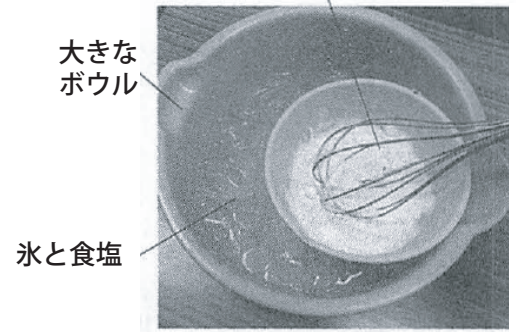
(3) 実験の結果から、水の温度と食塩・ミョウバンのとける量には、どんな関係があるのでしょうか。

80字以内で書きましょう。

☆水よう液・もののとけ方に関する問題 2015年 滋賀県共通①

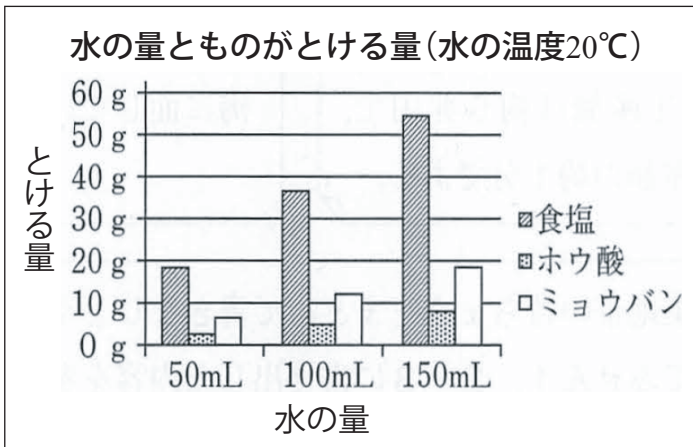
たかしさんとよしこさんは、交流会で出すアイスクリームをためしにつくりました。写真のように、大きなボウルの中に、氷と食塩を入れてよくまぜ、0℃以下に冷やしました。

写真 アイスクリーム

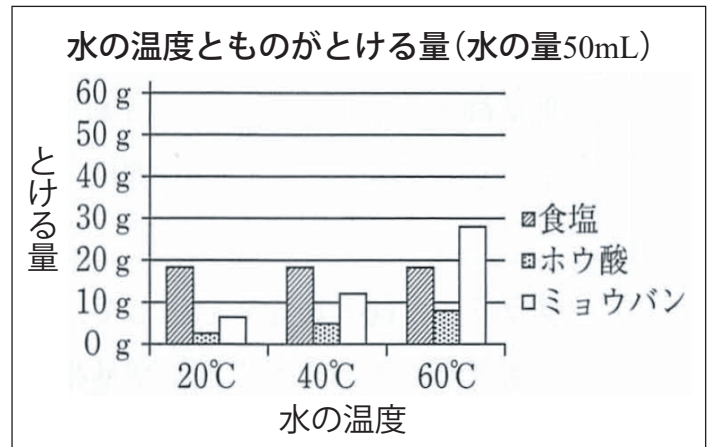


- (1) 冷たくなり始めた大きなボウルの外側には水滴がつきました。なぜ水滴がついたのでしょうか。  
ふだんの生活の中で起こる同じようなことを例に挙げ、そのようなことが起こるわけを「水蒸気」という言葉を使って説明しましょう。
- (2) アイスクリームをつくり終わったあと、大きなボウルの中の氷はすべてとけ、食塩はすべて水にとけていました。たかしさんたちは、たかしさんの理科ノートの一部をもとに、この食塩水の中から食塩をとり出す方法について、話し合っています。

グラフ1



グラフ2



たかしさん：食塩水にとけているものをとり出すには、食塩水の温度を下げる方法があるよね。

ひろみさん：そうだね。でも、このグラフを見て、食塩は、ホウ酸やミョウバンとはとけ方がちがうから、食塩水の温度を下げて取り出すのは難しいと思うよ。

よしこさん：それなら、食塩水を加熱してみたらどうかな。

あきらさん：そうだね。その方法ならきっと、食塩水から食塩をとり出せるよ。

よしこさん：では、やってみましょうよ。

ひろみさんは、下線部を説明するためにグラフを使いました。グラフ1とグラフ2からふさわしいものを1つ選んで、書きましょう。また、食塩と、ホウ酸やミョウバンとのとけ方のちがいを、グラフの中の言葉を使って書きましょう。

たかしさんたちは、食塩水を加熱することによって食塩をとり出そうとしています。

この方法で食塩がとり出せるわけを、「蒸発」、「水の量」、「とける量」という3つの言葉を使って書きましょう。

問題

正子さんは、ミョウバン、ホウ酸、食塩の大きなつぶの作り方について発表しました。

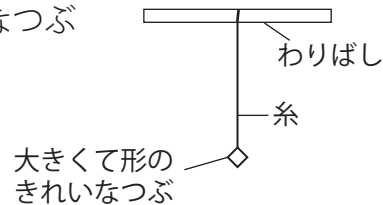
〔正子さんの発表内容〕

ミョウバン、ホウ酸、食塩について、次の〔作り方〕で、大きなつぶを作ろうと考えました。しかし、この〔作り方〕では大きなつぶがうまくできないものがありました。

〔作り方〕

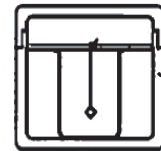
① 約60℃の水200mLに、できるだけとかして、そのまま冷やすと、底につぶができる。

② ①でできたつぶの中から大きくて形のきれいなつぶを選んで、糸の先につける。



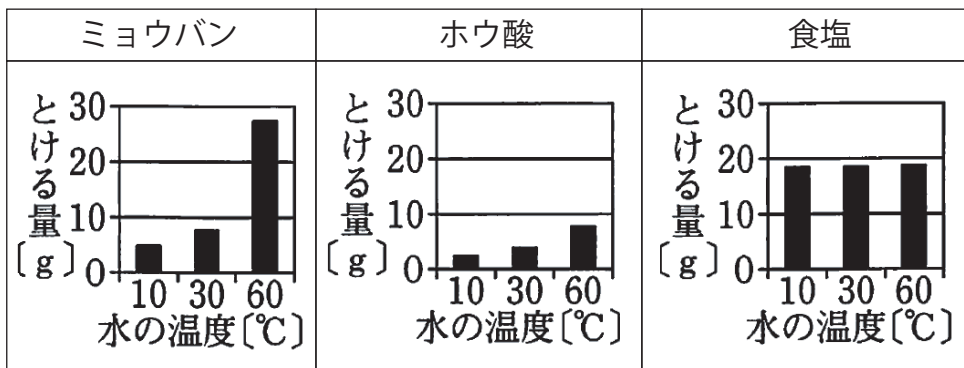
③ ①の液の温度を約60℃に上げて、すべてのつぶをもう一度とかす。

④ ③の液の温度が約50℃に下がったら、糸につけたつぶを入れ、発ぼうポリスチレンの入れ物の中でゆっくりします。



発ぼうポリスチレンの入れ物

〔水の温度と水50mLにもものがとける量〕

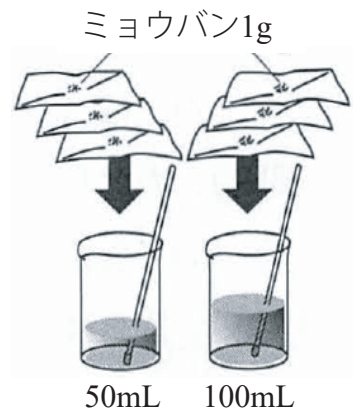


この〈作り方〉で大きなつぶがうまくできなかつたものはどれでしょう。グラフをもとに、ミョウバン、ホウ酸、食塩の中から1つ選びましょう。また、選んだ理由を書きましょう。

☆水よう液・もののとけ方に関する問題 2015年 徳島県共通①

■実験

- 1 水50mLの入ったビーカーに、ミョウバン1gを入れてよくかき混ぜる。完全にとけてから、さらにミョウバン1gを入れる。これをミョウバンがとけ残るまでくりかえす。
- 2 水100mLの入ったビーカーにも、1と同じことをする。
- 3 とけ残りが出たら、それまでにとけた量を表にまとめる。



さくらさんのまとめた表

水の量	50mL	100mL
ミョウバン	4g	8g

指導員：ものが水にとけたときの持ちょうをあげると3つありますね。

さくら：はい。ものが水の中で全体に広がっていること、「え」、時間がたってもとけたものは水と分かれなことです。

指導員：そうですね。この実験は2つのビーカーの水の量を変えています。2つのビーカーで同じにする条件は何ですか。

さくら：水の温度を同じにすることです。

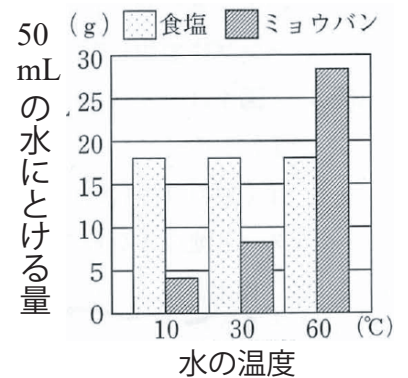
指導員：そうですね。では、「実験」から、水の温度が同じときの、水の量と、ミョウバンが水にとける量について、どのようなことが言えますか。

さくら：「お」ですね。

指導員：そうですね。次に資料を見てください。これは、水の温度を変えてミョウバンや食塩をそれぞれ1gずつ50mLの水にとかし、とけ残りが出たら、それまでにとけた量をグラフに表したものです。このグラフから、水の温度とミョウバンや食塩が水にとける量について、どのようなことが言えますか。

さくら：「か」です。

資料 ミョウバンや食塩が水にとける量



指導員：よくできました。では、この新しく用意した2つのビーカーを見てください。

2つのビーカーには、60℃の水50mLをそれぞれ入れ、ひとつには食塩15gを、もうひとつにはミョウバン15gをとかしています。それでは、この2つの水よう液の温度を10℃まで下げましょう。

たけし：はい。10℃まで下がりました。片方のビーカーにだけ、つぶが現れました。

これは、「き」のつぶですね。

指導員：そのとおりです。ではビーカーの中に現れたつぶをろ過して、取り出してみましよう

たけし：はい、やってみます。



☆水よう液・もののとけ方に関する問題 2015年 徳島県共通②

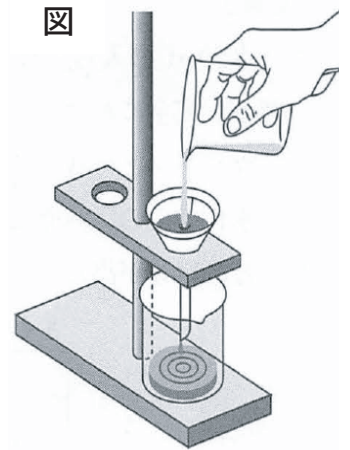
問1 さくらさんは「え」で、ものが水にとけたときの、3つの  
特ちょうのうちの1つを答えました。どのように答えるか、  
書きなさい。

問2 さくらさんは「お」で、水の温度が同じときの、水の量と、ミョウ  
バンが水にとける量の関係について2つ答えました。  
どのように答えるか、2つ書きなさい

問3 さくらさんは「か」で、水の温度と、ミョウバンや食塩が水  
にとける量の関係を答えました。  
それぞれ、「ミョウバンは、」「食塩は、」に続けて書きなさい。

問4 たけしさんは「き」で、ビーカーの中に現れたつぶについて  
答えました。何のつぶが現れたか、書きなさい。

問5 図は、たけしさんがろ過している様子ですが、指導員の先生から「ろ過のしかたとして  
正しくないところが2か所あります。」と言われました。その2か所についてどのように  
直すか、2つ書きなさい。



おいしいつけものを作ろう。

あきらさんとみどりさんは、家でなすのつけものを作ろうとしています。

みどり：おばあさんになすのつけものを作る材料表をもらったよ。これを参考にして、あきらさんとわたしでどちらがおいしいつけものを作れるか、おたがいに工夫して作ってみましょう。

[なすのつけもの材料表]

小さいなす	10個程度	さとう	70g程度
塩	30g程度	水	450mL
ミョウバン	5g程度		

(ミョウバンは、なすをきれいなむらさき色にするよ。)

あきら：まずは、塩を水にとかしてみるよ。よく混ぜると塩が見えなくなったね。あっ、しまった。塩の重さをきっちり量るのをわすれてしまった。

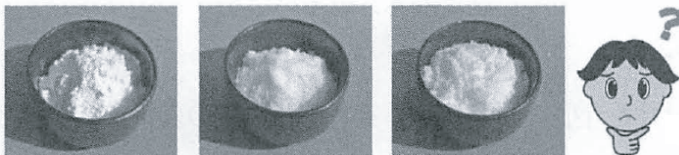
みどり：わたしは、きっちり30gをはかつてとかしたわ。それに、あきらさんが使った水の量はわたしの水の量と同じなので、何gの塩を入れたか簡単に求めることができるわ。

課題1 あきらさんが水にとかした塩の重さは何gか、求める方法を図や文章で説明してみよう。ただし、みどりさんの使った容器は、あきらさんのものより10g重いものとします。また、塩を新たに加えたり、塩水の状態をかえたりすることはできません。

次の日、学校であきらさんとみどりさんは、つけものを作ったときの話をしました。

あきら：昨日、塩とミョウバンとさとうを使って、つけものを作ったよ。

先生：いい体験をしたね。では今からクイズを出すよ。ここに、つけものを作るときに使った塩、ミョウバン、さとうを70gずつ容器に入れて置いているよ。どれがどれかわかるかな。

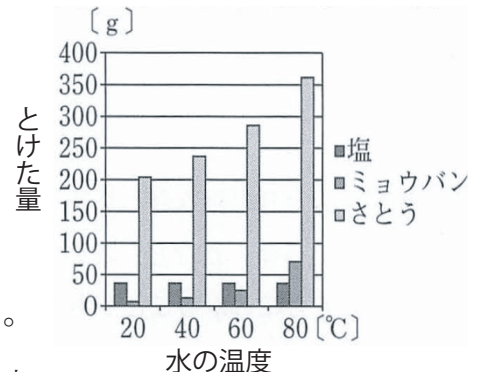


みどり：全部白い粉なのでわからないわ。味見をしたらだめかしら。

先生：味見をせずに、科学的に見つけてみよう。

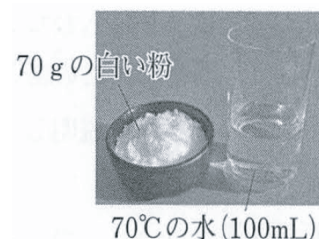
授業で、ものの種類によって水にとける量がちがうことを習ったのをおぼえているかな。このグラフは、水の温度と塩、ミョウバン、さとうがとける量を表しているよ。これを使えば、それぞれが何の粉が見つかることができるよ。

[水の温度とものがとける量(水100mL)]



課題2 塩、ミョウバン、さとうの粉がそれぞれ70gずつ入った容器と、70°C100mLの水が入った3つのコップがあります。

[水の温度とものがとける量]の関係のグラフを使って、それぞれを見分ける方法とその結果を説明してみよう。



学校で「お料理レポート」の宿題が出ました。花子さんと太郎さんは、いっしょに作り、その様子をレポートとしてまとめることにしました。

そこで、花子さんは、材料表と作り方を書いた紙を準備して、太郎さんの家に行きました。

材料表

ナス	1kg
食塩	30g
ミョウバン	3g
水	500mL

<ナスのつけ物の作り方>

1. 水をふつとうさせて食塩を入れ、食塩がとけたらミョウバンを入れてとかし、つけ物液をつくる。
2. 冷ましたつけ物液にナスを入れて、その上に重しをして、冷蔵庫に入れて3日ほどで完成。

太郎：つけ物に食塩を入れるのは、野菜の水分をぬいて長持ちさせるためでもあるんだよ。それに食塩はからだの中のいろいろな部分のはたらきを手助けするからね。

花子：ミョウバンって見た目が食塩ととても似ているわ。  
何のために入れるのかな。

太郎：ナスのつけ物の色を、あざやかな青色にするために入れるんだよ。

2人がつけ物液を作るとき、材料表に書かれている量をまちがえ200mLの水をふつとうさせ食塩とミョウバンを両方とも30g入れてしまいましたが、どちらも完全にとけました。

花子：つけ物液を作り直したいけど、ミョウバンがもうないわ。

太郎：このつけ物液から、ミョウバンだけ入れた量の半分くらい、取り出せないかな。

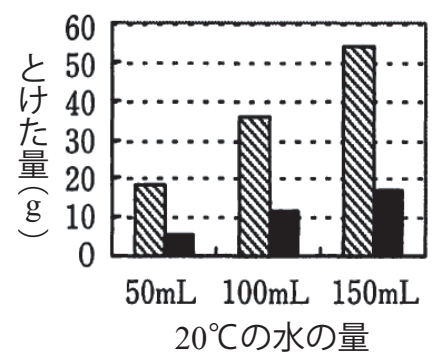
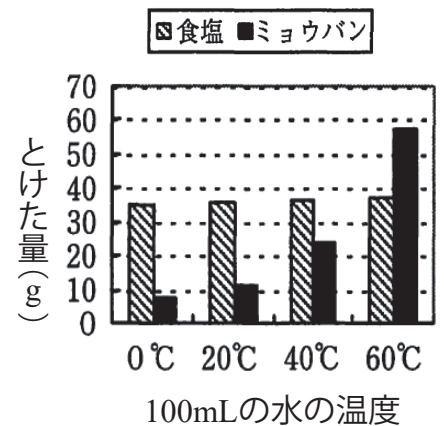


図1

問題 200mLの水に食塩とミョウバンが30gずつとけた水よう液が

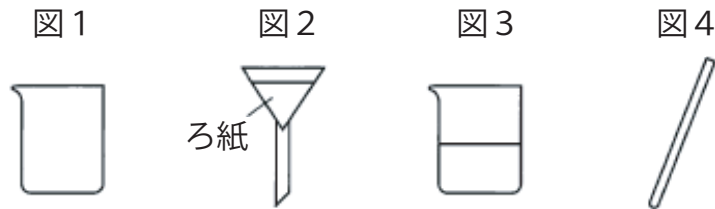
あります。図1のグラフから食塩とミョウバンが水にとけるようすのちがいを読み取り、図1を使ってミョウバンだけを15g以上取り出す方法を説明しましょう。水の量と水の温度については必ず書きましょう。

なお、水に食塩とミョウバンがいっしょにとけると、そのとけ方はおたがいにえいきょうはしないことにします。

☆水よう液・もののとけ方に関する問題 2014年 京都府立園部高等学校附属中学校①

濃度40%の食塩水をつくろうとして、用意した食塩と水を混ぜたところ、いくらかき混ぜても食塩が全部とけ切れませんでした。とけ切れなかった食塩のつぶをろ過して取り出してみました。ろ過した液はビーカーにためておきました。

- (1) 正しいろ過のしかたを次の図1～図4を用いてかきなさい。ただし、図1は「ろ過した液をためるビーカー」、図2は「ろ紙をつけたろうと」、図3は「食塩水を入れたビーカー」、図4は「食塩水を注ぐガラス棒」を示すものとします。



- (2) ろ過した液を日当たりのよい場所に数日間置いておくと、ビーカーの内側につぶが現れてきました。大志さんは死海の湖岸や湖底と同じように食塩のつぶができたと考えました。ビーカーの内部に食塩のつぶが現れた理由を答えなさい。

次に大志さんは、水、濃度10%の食塩水、濃度20%の食塩水、濃度25%の食塩水の4種類を用いて、ものがういたりしずんだりすることを確かめる実験をすることにしました。えん筆、洗たくばさみ、クリップ、スライドガラス、ゴムせんを使用し、それぞれを4種類の液につけると次の表のような結果になりました。

- (3) この実験結果から、ものがういたりしずんだりすることと食塩水の濃さにはどのような関係があるといえますか。そのように判断した理由とともに答えなさい。

使用したもの	えん筆	洗たくばさみ	クリップ	スライドガラス	ゴムせん
水に入れたときのようす	水面にうく	底にしずむ	底にしずむ	底にしずむ	底にしずむ
濃度10%の食塩水に入れたときのようす	水面にうく	底にしずむ	底にしずむ	底にしずむ	底にしずむ
濃度20%の食塩水に入れたときのようす	水面にうく	水面にうく	底にしずむ	底にしずむ	底にしずむ
濃度25%の食塩水に入れたときのようす	水面にうく	水面にうく	底にしずむ	底にしずむ	水面にうく

# ☆水よう液・もののとけ方に関する問題 2013年 茨城県共通①

けんたさんとゆうかさんは、水50mLを入れたビーカーを2つ用意し、食塩とホウ酸がそれぞれどのくらいとけるかを図1の手順で調べました。ゆうかさんは食塩、けんたさんはホウ酸について調べ、その結果をそれぞれ表1と表2にまとめました。

図1 水50mLにとかす実験の手順

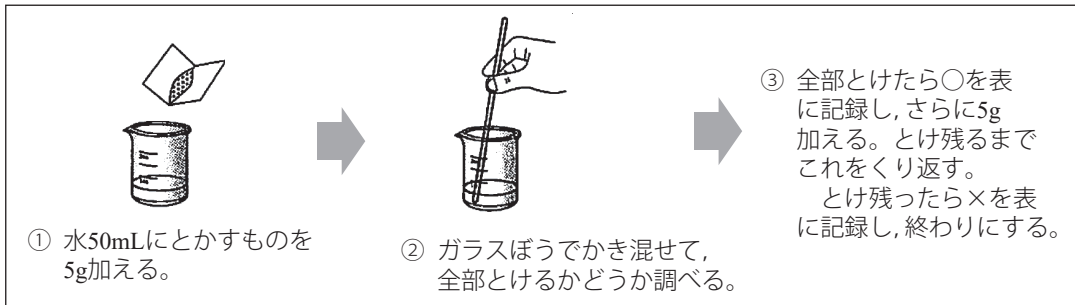


表1 ゆうかさんが調べた結果(食塩)

	1回目	2回目	3回目	4回目
加えた食塩の重さ	5g	5g	5g	5g
全部とける：○ とけ残る：×	○	○	○	×
加えた食塩の重さの合計	5g	10g	15g	20g

表2 けんたさんが調べた結果(ホウ酸)

	1回目	2回目	3回目	4回目
加えたホウ酸の重さ	5g			
全部とける：○ とけ残る：×	×			
加えたホウ酸の重さの合計	5g			

ゆうか：食塩は4回目、ホウ酸は1回目でとけ残ったわね。

けんた：とけ残った食塩やホウ酸をとかすことはできないかな。先生に聞いてみようか。

先生：がんばっていますね。100gの水にとける量についてまとめたグラフ(図2)があります。このグラフを参考に考えてみてください。

ゆうか：はい。グラフから、とけ残った食塩をとかす方法を考えてためしてみます。

けんた：ぼくは、ホウ酸をためしてみます。

けんたさんとゆうかさんは、それぞれが別の方法でためしてみました。

ゆうか：とけ残った食塩をとかすことができたわ。

けんた：ぼくも、1回目でとけ残ったホウ酸をとかすことができたよ。

先生：2人ともよく考えて実験しましたね。とけ残った食塩とホウ酸をとかすことができたので、ラップフィルムでビーカーにふたをして、今日はこのままにして帰りましょう。明日の放課後、この理科室に来てください。

次の日の放課後、けんたさんとゆうかさんが理科室に行くと、1つのビーカーの中は変化がなく、もう1つのビーカーの中にはとけていたものが出ていました。

## ■問題

次の日の放課後の2つのビーカーのようすについて答えなさい。また、ゆうかさんとけんたさんは、とけ残った食塩とホウ酸をそれぞれどのような方法でとかしたと考えられますか。とかした方法とその方法を行った理由を説明しなさい。

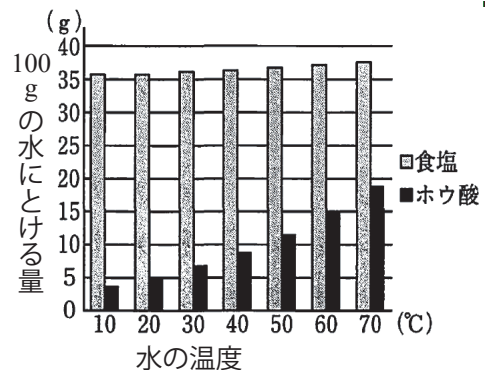
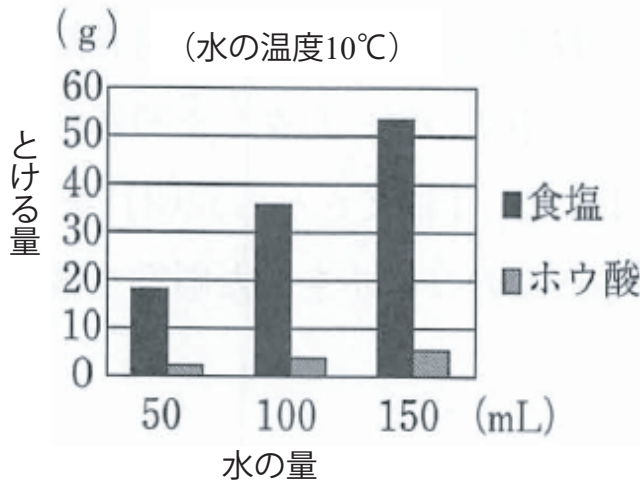


図2 100gの水にとける量

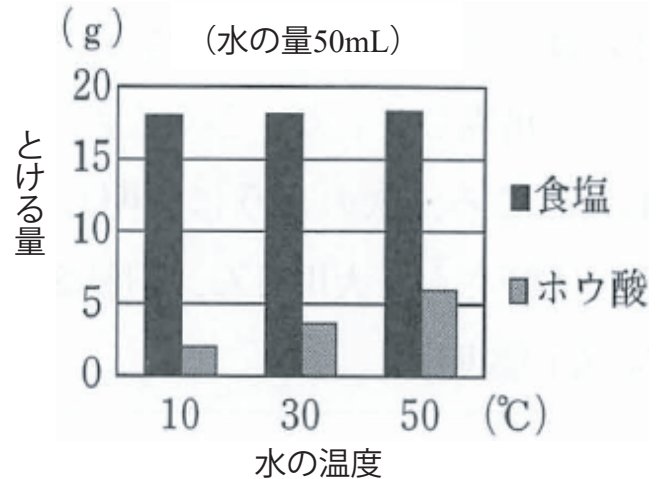
物のとけ方について調べました。これに関して、次の問いに答えなさい。

- 1 次のグラフは水にとける食塩とホウ酸の量を調べた結果です。これについて、あとの(1),(2)の問いに答えなさい。

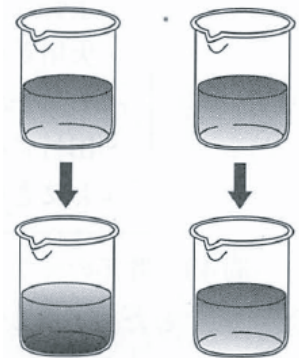
水の量ととける量との関係



水の温度ととける量との関係



- (1) 右の図のように、2つのビーカーに50°Cの水を入れ、それぞれ食塩とホウ酸をとけるだけとかしました。しばらくたって水よう液の温度が下がると、片方の水よう液からは、とけていた物が出てきたことが観察できました。それは食塩とホウ酸のどちらですか。出てきた物と、そう考えた理由を書きなさい。



- (2) グラフから、食塩とホウ酸のとけ方には同じところやちがうところがあることがわかります。そのうち、同じところを1つ書きなさい。

- 2 海水から食塩をつくることができます。たとえば、海水を砂浜に何度もまき、日光でわかして塩がたくさんついた砂をつくり、その塩がついた砂から塩のつぶを取り出すことができます。塩がついた砂から砂を取りのぞき、塩のつぶを取り出すには、どのような方法が考えられますか。その方法を1つ書きなさい。